

発汗サーマルマネキンを利用した衣服の性能評価

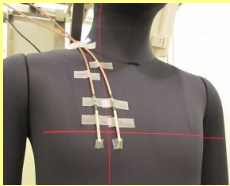
利用事例：発汗サーマルマネキンを用いてインナーウェアの性能評価を行いたい



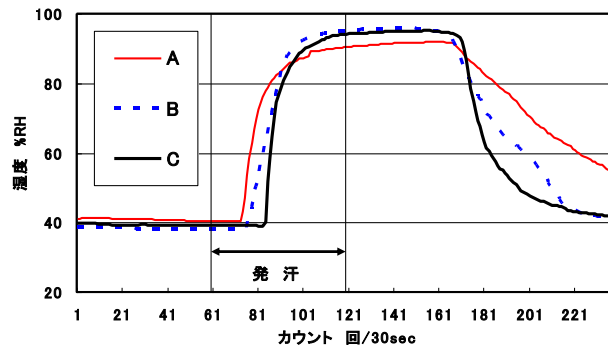
富山県ものづくり研究開発センターの恒温恒湿チャンバーで、温度25°C・湿度50%RHの実験環境を整えました。その環境で発汗サーマルマネキンに、A、B、Cのインナーと共通アウターを着用させ、マネキン表面温度33°C、50g/m²hで30分間の発汗条件を設定。衣服内温湿度等を測定して、インナーの快適性能の評価を行いました。



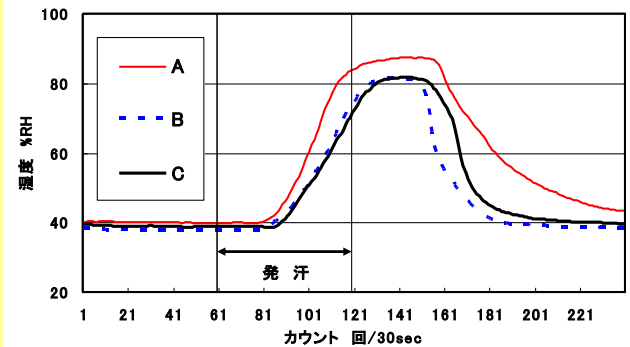
測定結果例



温湿度センサと着衣



人工皮膚・インナー間の衣服内湿度変化



インナー・アウター間の衣服内湿度変化

使用装置：発汗サーマルマネキン(京都電子工業(株))、恒温恒湿チャンバー(株)大西熱学 OS-9FS)